

動物ふぁいる No.73
生き物ずかん平川動物公園
ニホンジカ

【平川動物公園 ☎261-2326 FAX261-2328】



ニホンジカは雄だけが角を持っています。「枝角」と呼ばれ、1年に1度生え変わるのが特徴です。毎年3月頃に抜け落ち、9月頃には立派な角が完成するというサイクルを、毎年繰り返します。繁殖期は秋で、この角を使い、雌を巡る縄張り争いが始まります。

今回はその角のヒミツを紹介します。角の枝分かれでシカの年齢を把握することができ、何も生えていないシカは1歳未満の雄、もしくは雌です。角の先端が1つのシカは1歳、2つになっているシカは2歳、3つになっているシカは3歳、4つになっているシカは4歳以上です。それ以上は歳を重ねても先端の数が増えることはありませんが、太く立派になっていきます。さらに歳を重ね、高齢になっていくと左右の角の形がバラバラになったりもします。

ぜひ当園で、ニホンジカの角にも注目しながら、動物たちの生態に関心を持っていただけたらうれしいです。

かごしまフォロワー
かごフォロ本市を舞台にした映画「青すぎる、青」主演
女優 上大迫 祐希 さん

【広報課 ☎216-1133 FAX216-1134】



2000年生まれ。本市出身。数々の映画や舞台に出演するなど、活躍の場を広げている。市内各所で撮影された映画「青すぎる、青」(10月27日(金)鹿児島で先行公開)では、さまざまな出会いや体験を通して人間的に成長していく物語の主演を務める。



鹿児島市で育ち、幼い頃から関心のあった芸能活動に挑戦したいと思い、中学生のときに自ら芸能事務所に応募しました。芸能活動のため上京してから5年目になりますが、“何事も諦めずに挑戦し、楽しみながら経験を増やす”ことをいつも心がけて活動しています。

今回の映画では、父親を亡くして心に穴があき、卒業制作を前に自分の表現したいものが何か分からずにもんもんとしている鹿児島の美大生を演じました。



鹿児島市の風景もお楽しみください!

将来に悩んでいる学生や同じ気持ちを経験された皆さんに特に見てほしい作品です。また、皆さんが当たり前目にされている、桜島やフェリー、アミュランなど鹿児島の魅力が存分に詰まっており、特に大きなスクリーンで見ると、さらに迫力を感じていただけるはずですよ。

今後は、鹿児島を少しでも盛り上げる力になればと思いますので、微力ではありますが、こんな子がいるんだなーと“上大迫祐希”を気にしてもらえると嬉しいです!(インタビューの詳細は広報課Instagram「カゴシマファン」などでチェックを)

学芸員オススメ! No.91
市立美術館の逸品藤本東一良
『ヨットハーバー(鹿児島)』

【市立美術館 ☎224-3400 FAX224-3409】

ヨットと桜島が織りなす風景



燃ゆる感動かごしま国体・大会がいよいよ開催されます。今回紹介するのは、昭和47年に開催された、第27回国民体育大会「太陽国体」のヨット競技会場となった本市平川町のヨットハーバーを描いた作品です。

藤本は戦後のヨーロッパ留学後、昭和30年代にヨットを題材としたフランスの風景を多く発表しました。その多くは、陸に揚がったヨットのある風景画ですが、本作は桜島がもうひとつの主演となっています。錦江湾の水平線やヨットのポールが織りなす直線的な構成の前景に、噴煙たなびく桜島の有機的な背景が組み合わせられ、静と動の対比がダイナミックで面白い空間を生み出しています。

再びこの地で開催される国体競技。本作をご覧ください当時の情景に思いをはせながら、現地で躍動する選手たちを応援してみてくださいはいかがでしょうか。

※12月10日(日)まで開催する「秋の所蔵品展」で展示しています

ひろばサポーターがゆく ライフル射撃競技を体験

【国体競技課 ☎808-2480 FAX808-0083】

競技体験で国体を楽しもう!

今月7日から、いよいよかごしま国体が開催されます。そこで、鹿児島市で開催される競技の一つである、ライフル射撃の体験に小学生の子どもたちと行ってきました。

ひろばサポーター
筑摩

今回体験したのは「ビームライフル」という競技。10m先のわずか3cmほどの的に向かって、45分間で60発撃ち、その合計点を競う競技です。引き金を引くと銃弾の代わりに光が発射され、大きな音も出ないので安全です。銃は少し重かったですが、スタッフの方のサポートもあり、小学生でも上手に的を狙って撃てていました。体験前に感じていた不安はいつのまにか吹き飛び、子どもたちと高得点を狙って何度も挑戦して射撃を楽しむことができました!



銃口から光が出る様子

体験を通して、競技の面白さや難しさを実感したことで、さらに熱い気持ちを込めて選手の皆さん

こんなに小さい的に
当てられました!



を応援できそうです。国体期間中には、ビームライフルを無料で体験できるイベント(詳しくは3面)もあります。皆さんもぜひ国体競技の魅力を体感してみてくださいはいかがでしょうか?